



KITE SOCIETY  
CONCERT

# KITE SOCIETY

## 第3回 定期演奏会

合唱 / カイトソサイエティー  
長野 高校 合唱班  
日時 / '68, 3, 29, 6:30 PM  
場所 / 長野 市民会館

### <ごあんない>

三寒四温といわれる3月もうあとわずか。回りの山々は黒い地肌を現し、草木は芽ぶいて春を告げています。

私共カイトソサイエティーも3年目を迎え、ここに第3回定期演奏会を持つに至りました。過去2回地理的、時間的に制約の多い私共が、盛大に幕を閉じる事ができましたのは、ひとえに皆様の暖かい御支援、御協力の賜物と深く感謝しております。今年のプログラムは、昨年とその傾向を変えて、皆様に親しみやすい曲を組んだつもりであります。そんな中で、男声合唱の持つ味わいといったようなものを感じていただければ、これに勝る幸はございません。どうか存分に御批判くださる様お願いいたします。今回も長野高校合唱班の賛助をいただきました。関係各位に厚く御礼申し上げます。

今宵は年度末のお忙しい中を御来場くださいましてありがとうございます。今後共、皆様と共に歌える機会を持ち続けてまいりたいと思っております。どうか御支援、御後援の程を心からお願い申し上げます。



プログラム

### I. 六つの日本民謡

木曾節  
ソーラン節  
塩田小唄  
ほーはい節  
最上川舟唄  
島原の小守唄

### II. シューベルトの作品から

菩提樹  
死と乙女  
子守唄  
夜

### III. メンデルスゾーン男声合唱曲集

記念祭の歌 (Dis Stiftungsfeier)  
楽しきさすらい人 (Der frohe wandersman)  
水の上 (Wasserfahrt)  
リヨンの同胞に寄する歌 (Lied an die Deutschen in Lyon)  
トルコの酒場の歌 (Turkisches Scheukenlied)

### IV. 男声合唱組曲 「富士山」

作品第壹  
作品第肆  
作品第拾陸  
作品第拾捌  
作品第貳拾壹



曲目解説とご案内 (1)

I 六つの日本民謡

木曾節 (長野県)

石井 歓 作曲

ソーラン節 (北海道)

清水 修 作曲

塩田小唄 (香川県)

多田 武彦 編曲

ほーはい節 (青森県)

高田 三郎 作曲

最上川舟唄 (山形県)

清水 修 作曲

島原の小守唄 (長崎県)

福永陽一郎 編曲

指揮 三島 毅

民謡は民族の遺産であり、歴史を伝える声であるとい
いますし、またさらに楽譜以前に歌があり、言葉があっ
たともいいます。その民謡を現代に生きる私共はどう歌
ったら良いのでしょうか。現在合唱で歌われる民謡は、
原曲を編曲したものと、原曲は単に素材として新たに作
曲されたものがあります。いずれも、民謡が現在までに
時代と風土によって変えられて来たように、合唱という
形態を得て変化したものであると考えられるのではない
でしょうか。そんな中から今日は、多田武彦、福永陽一
郎の編曲で「塩田小唄」「島原の小守唄」を、石井歓・
清水修・高田三郎の作曲で「木曾節」「ソーラン節」「最
上川舟唄」「ほーはい節」を歌います。北海道から長崎
まで全国の生活から生まれた歌、その持つ独特の旋律と
ことばに、何とも言い難い共感と愛着を感じつゝ、心か
ら歌い上げたいと思っております。

指揮者 プロフィール

三島 毅

昭和39年度長野高校合唱班指揮者として、「山に祈る」、
「富士山」作品第貳拾壹を振る。トレードマークの大き
な手は、指揮の際実に微妙な動きを示して、我々をリー
ドする。現在東北大学在学中で、本年度カイトの技術責任
者でもある。



曲目解説とご案内 (2)

II シューベルトの作品から

菩提樹

ミューラー 原詩
福永陽一郎 編曲

死と乙女

クラウディウス 原詩
福永陽一郎 編曲

子守歌

クラウディウス 原詩
福永陽一郎 編曲

夜

クルムマッヘル 原詩

合唱 長野高校合唱班

指揮 堀内 篤

昨年このステージで現代邦人作品を歌ってくれた長野
高校合唱班、今年は一昨年のように外国に作品を求め
て、歌曲の王シューベルトの作品から皆様よく御存知の
曲を4曲演奏いたします。

まず歌曲集「冬の旅」の第5曲、泉のほとりの菩提樹
の木で昔の思い出と現実を交錯させた有名な「菩提樹」
をこれも親しまれている近藤朔風の訳詞で、次に乙女と
死神の対話を歌った「死と乙女」を乙骨三郎の訳詞で
そして数ある歌曲の中で最も親しまれている19才の時の
作品「子守歌」を近藤朔風の訳詞で、最後に4曲の中の
唯一のオリジナル合唱曲「夜」を津川圭一訳詞で演奏い
たします。ベートーヴェンのあとを受けてウィーン古典
派からロマン派へと結ぶそのドイツロマン派の最初の開
花をみせるシューベルトの作品を、若々しい抒情と真摯
な態度で歌い上げる長野高校合唱班に、どうぞ御声援く
ださい。

プロフィール 長野高校合唱班

一時30名のメンバーを集めるのに苦心したという事が
嘘のように、ここ数年2・3年生で40余名を数え、安定
した活動が続けている合唱班。昨年は毎日コンクール東
日本大会入賞という実績をつくって大いに気を吐きまし
たが、それを基にさらに飛躍するべく、若さの持つ魅力
と可能性を秘めて、今日も練習に励んでおります。



曲目解説とご案内 (3)

Ⅲ メンデルスゾーン男声合唱曲集

記念祭の歌

Die Stiftungsfeier

植村敏夫訳詞

楽しきさすらい人

Der frohe Wandersman

津川主一訳詞

水の上

Wasserfahrt

津川主一訳詞

リヨンの同胞に寄する歌

Lied an die Deutschem in Lyon

津川主一訳詞

トルコの酒場の歌

Türkisches Schenkenlied

植村敏夫訳詞

指揮 宮下荘治郎

メンデルスゾーンは、多くの歌曲と共に、パートソング（主に上声部に旋律を置いた和声的な合唱曲）の名作をたくさん残しています。「ひばり」「森に別るる歌」などの混声合唱曲は御存知の皆様も多い事でしょう。その軽やかで甘美な調べは、メンデルスゾーンならではの感があります。

そんな彼の合唱曲の中から、まず植村敏夫訳詞の「記念祭の歌」を、次いで津川主一訳詞の「楽しきさすらい人」「水の上」「リヨンの同胞に寄する歌」、最後に再び植村敏夫訳詞の「トルコの酒場の歌」を歌います。

いずれもいわゆる小品ですが、それだけに親しみやすく、楽しく歌える曲です。男声合唱のトレードマークのように言われる重厚で暗い感じを吹き飛ばして歌いたいと思います。そんな中に私共カイトソサエティの雰囲気といったようなものを感じていただけたら幸いです。

指揮者 プロフィール

宮下 荘治郎

昭和41年度長野高校合唱班指揮者としてカイト第1回定演にオペラの合唱曲を振ってくれた彼は、今回は会員としてこのステージの指揮を受け持っています。小粒ながらファイトは人一倍で、今後のカイトを背負う一員として期待されます。



曲目解説とご案内 (4)

Ⅳ 男声合唱組曲

「富士山」

草野心平作詞

多田武彦作曲

作品第壹

作品第肆

作品第拾陸

作品第拾捌

作品第貳拾壹

合唱 カイトソサエティ

長野高校合唱班

指揮 山本 昇

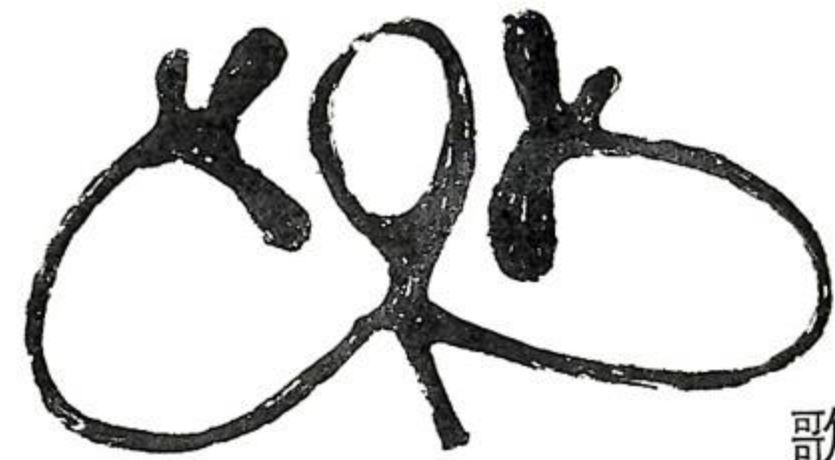
アマチュアの男声合唱団、ことに大学のグリークラブで必ずといって良い程レパートリーに加えられる多田武彦の作品は、男声合唱特有のハーモニーの上に、みずみずしい抒情が加味されて、私共をひきつけます。長野高校合唱班のレパートリーにも、多田ブシの中から「柳河風俗詩」「航海詩集」「富士山」が加えられてまいりました。その中から、今宵最後のステージに現役・OB合同で組曲「富士山」を演奏いたします。

様々に姿を変える富士山を歌った草野心平の詩の中から5つを選んで作曲されたこの組曲に私共は、日本人の象徴としての富士というよりも、日本人の心の故郷としての富士といったようなものを感じております。豊かな太陽の恵みと澄んだ空気の中に、ゆったりと裾野を広げ、碧空を指す富士……そんな姿を想い描いていただければ幸いです。

指揮者 プロフィール

山本 昇先生

先生に現役・OB合同合唱の指揮をお願いするのももう3回を数えました。カイト結成以来、否、長野高校合唱班入班以来、先輩として顧問として私共のよりどころとなってくださっています。そんな先生の棒の下で心ゆくまで合唱することができる私共は、本当に幸福であると申せましょう。



歌 詩



カイトの四季

### 富士山

草野心平

#### I 作品第壱

麓には桃や桜や杏さき  
むらがる花花に蝶は舞ひ  
億萬萬の蝶は舞ひ  
七色の霞たなびく

夢みるわたくしの  
富士の祭典

ぐるりいちめん花はさき  
ぐるりいちめん蝶は舞ひ  
昔からの楽器のすべては鳴り出すのだ  
種蒔きのように鳥はあつまり  
日本のすべての鳥はあつまり  
楽器といっしょに歌っている

夢みるわたくしの  
富士の祭典

七色の霞は雪に映え  
七色の陽炎になってゆらゆらする  
鹿や猪や熊や馬  
人はゐないか人もゐるゐる  
へうたんの酒や女の舞ひ  
標野の人も歌っている

ああ  
夢みるわたくしの  
富士の祭典

遠く大雪嶺からは黄鳥が  
使者になって花を脚へて渡ってくる  
三つの海を渡ってくる

#### II 作品第肆

川面に春の光はまぶしく溢れ  
そよ風が吹けば光たちの鬼ごっこ  
葦の葉のささやき  
行行子は鳴く  
行行子の舌にも春のひかり

土堤の下にうまごやしの原に  
自分の顔は両掌のなかに  
ふりそそぐ春の光に  
却って物憂く眺めてゐた

少女たちはうまごやしの花を摘んでは  
巧みな手さばきで花環をつくる  
それをなはにして縄跳びをする  
花環が圓を描くとそのなかに  
富士がはひる  
その度に富士は近づき、とほくに座る

耳には行行子  
頬にはひかり

#### III 作品第拾陸

牛久のはての  
はるかのはての山脈の  
その山脈からいちだん高く  
黒富士  
大なる  
はるか  
黒富士

さくらんぼ色はだんだん沈み  
上天に  
金限取の  
雲一点  
＜存在を超えた無限なもの＞

#### ＜存在に還へる無限なもの＞

祈りの如き  
はるか  
黒富士

#### IV 作品第拾捌

まるで紅色の狼火のように  
豊旗雲は満々と燃え

その下に  
ズーンと黙す  
黄銅色の大存在

まぶしいぬるい光に浮ぶ数数の  
豊旗雲の

その下の  
地軸につづく  
黄銅色

どこからか そして湧きあがる  
天の楽音

#### V 作品第貳拾壱

(宇宙線富士)

平野すれすれ  
雨雲屏風おもたくとざし  
その絶端に  
いきなりガツと  
夕映の  
富士

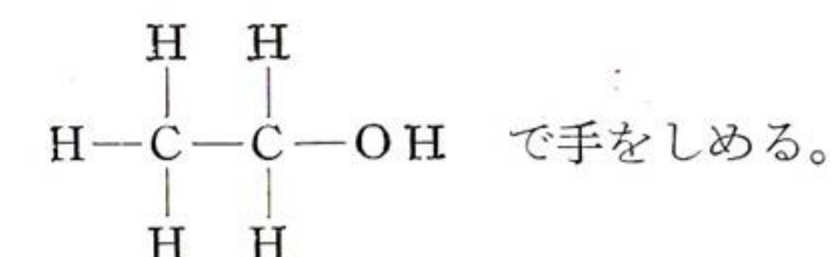
降りそそぐそそぐ  
翠藍ガラスの  
しゅう

春 定期演奏会が終れば、各大学ではそろそろ入学式、始業式 カイトの仲間は学校へ、職場へそして浪人生活へと住所を確かめつつ散って行き、おのおのの生活が始まる。でも本部役員は会費未納者の搜索と指名手配また来年の演奏会の下準備を……とのっそり動き出す。

夏 大学生にとっては楽しい夏休み。この頃になると来年の演奏曲目も大かた決まり配布された楽譜を持ちより合宿に入る。例年飯綱高原の施設を使ってワイワイと練習だが昼間はもっぱら練習、そして夜は、メンタンピンドライチバンバン！ ハートで18枚副官オールマイティー！………夏之夜はふけて行く。

秋 カイトの運営停滞期。現役がコンクールなどで上京すると、東京周辺のカイトの仲間はぞくぞくと(?) 応援にかけつけてきては話しに花が咲く。演奏会の準備は、もっぱら個人の譜読みにかかる。

冬 さあ定演も目の前。本部ではポスター、パンフ、チケット作りにてんてこまい。正月は多くの者が帰ってくるので新年そうそう練習。こんなことじゃだめだ！ とお互い顔を見合わせ、定演の細かなことも決まると



そして春 新しいカイトのメンバー(高校卒業生)も入試中に顔を見せたりしながら総仕上げに入る。各自チケット売りに飛び回り、ガールフレンドの少ないことを嘆く。街頭売りが始まる頃はもう演奏会も近い。＼エー合唱を聞きませんか！ ＼エー男声合唱はいかが？

カイトの一年は合唱で開け合唱で暮れます。



### カイトの仲間たち

- |              |              |             |             |
|--------------|--------------|-------------|-------------|
| 山本 昇 (顧問)    | 堀内 征治 (BI)   | 倉科 正紀 (TII) | 渡辺 明 (BI)   |
| 飯田 弘己 (BI)   | 宮本 俊介 (TI)   | 佐藤 安雄 (BI)  | 石川 得達 (BI)  |
| 今井 勝男 (BI)   | 和田 忠久 (BI)   | 田野口 重明 (BI) | 田中 博美 (BI)  |
| 今井 伸一 (BII)  | (以上昭和38年度卒)  | 中沢 純一 (TII) | 佐藤 俊介 (TI)  |
| 大沢 彰 (TI)    | 飯田 治夫 (BI)   | 浜田 洌 (TI)   | (以上昭和41年度卒) |
| 鹿熊 厚 (TI)    | 伊賀 賢司 (BI)   | 松橋 文幸 (TI)  |             |
| 小嵐 正昭 (TI)   | 市村 信幸 (TII)  | 真鍋 盛二 (TI)  | 青木 千尋 (TII) |
| 清水 英一 (BI)   | 加藤 光男 (BI)   | 宮川 裕 (BII)  | 石坂 幸一 (BII) |
| 霜鳥 十三男 (BII) | 北山 一男 (TI)   | 公文 道夫 (BII) | 遠藤 青史 (BI)  |
| 十代田 建一 (TI)  | 近藤 清 (TII)   | 武井 忠広 (TII) | 大島 久仁孝 (BI) |
| (以上昭和36年度卒)  | 田幸 新造 (TI)   | 日詰 一彦 (TII) | 小川 博 (TI)   |
|              | 田中 武司 (BII)  | 吉村 恭規 (BI)  | 長田 邦明 (TII) |
|              | 田中 不二夫 (BII) | (以上昭和40年度卒) | 片山 正道 (TII) |
| 遠藤 好俊 (BI)   | 夏目 雄平 (BII)  | 大槻 周一 (TI)  | 川久保 明 (TI)  |
| 大西 修 (BI)    | 福島 貴和 (TII)  | 北村 和夫 (BII) | 栗田 博 (BI)   |
| 岡田 成文 (BII)  | 福島 稔 (BII)   | 杵淵 正明 (BI)  | 高木 房雄 (BI)  |
| 片桐 茂彦 (TII)  | 松沢 弥栄 (TII)  | 桐沢 佳昇 (TII) | 竹節 直樹 (BI)  |
| 須田 勝弘 (TII)  | 丸山 正一 (BI)   | 小林 広夫 (BI)  | 田原 茂 (BI)   |
| 丹下 泰夫 (BII)  | 丸山 秀夫 (TII)  | 佐藤 豊 (BII)  | 中村 茂雄 (BI)  |
| 中島 武 (BII)   | 三島 毅 (BII)   | 鈴木 孝一 (TII) | 藤沢 哲 (BII)  |
| 深沢 輝雄 (TII)  | 宮下 助俊 (TI)   | 高木 直行 (BII) | 細谷 清 (TI)   |
| 松永 茂一 (BII)  | 柳沢 俊彦 (BII)  | 寺沢 孝之 (BII) | 松本 進 (TI)   |
| 茂木 晃 (TII)   | 渡辺 裕夫 (BI)   | 中沢 信仁 (BII) | 丸山 光夫 (BII) |
| (以上昭和37年度卒)  | (以上昭和39年度卒)  | 仲田 章 (TII)  | 三沢 吉孝 (TII) |
|              |              | 宮川 英夫 (TII) | 南沢 純一 (BII) |
| 上野 直樹 (TII)  | 有田 耕平 (BI)   | 宮沢 孝夫 (BII) | 南 信行 (BI)   |
| 小嵐 正治 (BI)   | 金丸 文雄 (TI)   | 宮下 荘治郎 (TI) | 宮本 英雄 (BII) |
| 田中 正 (TI)    | 鎌田 道雄 (TII)  | 穴川 達郎 (TII) | (以上昭和42年度卒) |
| 塚田 智彦 (BII)  |              |             |             |

### KITEとは?

### SOCIETYとは?



Kite [kait] n. トビ うんぬん

Society [səsaɪəti] n. 交わり、会 うんぬん

私達仲間の出身校は

長野高校

そしてその校章は「金鷲」

ですから トビの会

歌うトビの仲間

KITE SOCIETY

という名がつけました